

(8) 大学院紀要への「修士論文要旨」の掲載・基準について

大学院紀要への「修士論文要旨」の掲載は原則として全員行うこととします。論文要旨のデータを修士論文提出時に提出してください。提出方法については別途指示します。

以下の、掲載基準を満たしているもののみ、掲載を許可します。

大学院紀要への掲載基準

『最終的な論文評価が A 以上 であり、指導教員による掲載の承認を得ることができたもの。

なお、指導教員名を併記して掲載する。』

よって、校正を済ませた後でも、上記条件を満たさないものは掲載しません。また、掲載しない場合の個別の連絡はしません。

(9) 修士論文の差し替えについて

修士論文の提出後の差し替えは口頭試問で指示された場合を除き、原則として認めません。提出締切日まで完成形を提出してください。

(10) 修士論文審査及び最終試験

修士論文審査及び最終試験については、口頭試問をもって行うこととします。

日程等詳細については、論文関連日程一覧や掲示で確認してください。

(11) 修士論文発表会について

修士論文の提出者は、修士論文発表会にて発表を行うことを原則とします。

日程等詳細については、論文関連日程一覧や掲示で確認してください。

(12) 修士論文の保存

合格した修士論文は、原則として公開することとし、非公開と認められたもの以外については、法政大学多摩図書館にて永久保存いたします。図書館にて閲覧が可能となります。

2. 博士後期課程（課程博士・論文博士）

本学博士後期課程3年次に在学中で、所定の科目を履修済または履修見込の者、及び本学博士後期課程に3年以上在学し、所定の科目を履修した後、退学して3年以内の者が博士の学位を取得する場合を、「課程による者の学位」として「**課程博士**」と呼び、上記以外の者が博士の学位を申請する場合を、「課程によらない者の学位」として「**論文博士**」と呼びます。

博士論文審査に必要な書式は在学生用ホームページ（学生生活について-1.(3)を参照）よりダウンロードしてください。（論文博士は大学院課人間社会研究科担当（現代福祉学部事務課）に問い合わせてください。）

【2021年3月修了予定者の審査】

2021年3月修了予定者ならびに学位授与希望者は次頁の日程にて審査を受けてください。

<課程博士>

項 目	日 程
博士論文 1 年次研究発表会 (1 年次)	2020 年 6 月 24 日 (水)
博士論文 2 年次研究発表会 (2 年次)	
博士論文 3 年次研究発表会 (3 年次)	
予備登録 (3 年次)	2020 年 9 月 1 日 (火) ～ 9 月 7 日 (月)
博士論文提出日 (3 年次)	2020 年 9 月 29 日 (火)
博士論文審査 (口頭試問実施) (3 年次)	2021 年 1 月下旬まで
学位・専攻分野届提出 (1 年次)	2021 年 2 月 18 日 (木)
博士論文発表会 (3 年次)	2021 年 3 月 23 日 (火)

※ 9 月修了を希望する場合は、前年度中に指導教員に相談のうえ事務課にお問い合わせください。(但し、課程博士のみ) (例年、9 月修了の予備登録は 4 月末、博論提出は 5 月上旬を予定しています)

<論文博士>

項 目	日 程
博士論文提出日 (提出期間)	2020 年 5 月 6 日 (水) ～ 5 月 9 日 (土)
論文受理審査 (1 次)	2020 年 6 月下旬まで (予定)
論文受理審査発表会	2020 年 6 月 24 日 (水)
論文受理審査 (2 次)	2020 年 7 月下旬まで (予定)
博士論文審査 (口頭試問実施)	2021 年 1 月下旬まで (予定)
博士論文発表会	2021 年 3 月 23 日 (火)

※論文博士の 9 月修了は受け付けていません。

課程博士

(1) 論文提出に向けた研究発表

博士論文を提出する者は、論文提出に向けて 1 年次に 1 年次研究発表、2 年次に 2 年次研究発表、3 年次に 3 年次研究発表を行わなければなりません。その際は事前に届出が必要です。日程等詳細については論文関連日程一覧や掲示で確認してください。

※ 1 年次の事前登録票提出時には、研究倫理 e ラーニングコース eL CoRE の「修了証書」も提出が必要です。(83 頁参照)

なお、3 年以上在籍している者も毎年研究発表を行わなければなりません。(ただし、該当年度休学者を除く)。特に、3 年生進級後は毎年 3 年次研究発表を行わなければなりませんので注意してください。

また、退学後 3 年以内に課程博士の学位を申請し受理が認められた者も、論文提出年度に 3 年次研究発表を行わなければなりません。(参考：退学者の課程博士申請に伴う再入学に関する規程)。

3 年次研究発表を行わない場合は 9 月末の博士論文提出はできません。このため、3 年生で休学した翌年度は必ず 3 年次研究発表を行ったうえでその年度の 3 月修了への手続きをしてください。

(2) 予備登録

博士論文の審査を希望する者 (主に 3 年次) は、定められた期間に、博士論文予備登録を行ってください。予備登録を行わない者については、博士論文の提出を認めません。日程等詳細については、論文関連日程一覧や掲示で確認してください。

(3) 論文提出

a. 提出締切日 2020 年 9 月 29 日 (火) 17:00 まで (厳守)

博士後期課程在学中の者および 3 年以上在籍した者で退学して 3 年以内の者は全員 9 月末日とします。

※いかなる理由があっても、論文提出日時の遅延は認めないので各自注意してください。

事務課窓口での提出準備は他の提出者の迷惑となるため、必ず事前に準備の上、時間内に提出してください。

b. 提出場所 多摩事務部大学院課人間社会研究科担当 (現代福祉学部事務課) (多摩キャンパス現代福祉学部棟 1 階)

c. 提出書類

提出書類	部数	備考
①博士論文審査願（課程博士）	4 部	指定用紙【様式 1】
②博士論文目録	4 部	指定用紙【様式 2】
③学位申請論文 （製本したもの）	4 部（製本）	市販のフラットファイル（A4 サイズ、色は自由）に綴じる。※下図参照。
④論文要旨（4,000 字以内）	4 部	指定用紙【様式 3】
⑤英文要旨	4 部	④に準じたものの英訳または英文アブストラクト
⑥論文のデータファイル	1 部（1 枚）	CD-R データ形式指定
⑦履歴書	4 部	指定用紙【様式 4】
⑧研究業績	4 部	指定用紙【様式 5】
⑨副論文目録（必要に応じて）	4 部	指定用紙【様式 6】
⑩副論文（必要に応じて）	4 部	
⑪電子公開複写許諾書	1 部	指定用紙【様式 7】
⑫電子公開に関する報告書	1 部	指定用紙【様式 8】

※修了記念品の製本用原稿としての提出は別途掲示で指示するので注意してください。

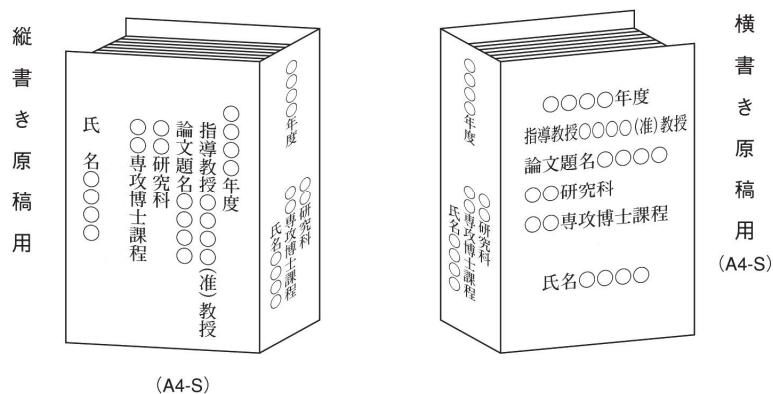
*「論文のデータファイル」は、提出する CD ケースおよび CD-R 本体に「論文題名」と「氏名」を記載してください。

*「論文のデータファイル」は、PDF 形式での提出を必須とします。

*「論文のデータファイル」の 1 ページ目には、論文題目と氏名を記載した表紙データを収めてください。

*「副論文」とは、本論文と内容的に深い関連があり、本論文の審査の一部として提出する論文を指します。（提出は任意）

< 学位申請論文の製本及び記載見本 >



・部数および作成基準を満たしていないものは受理できないのでご注意ください。

(4) 論文審査

a. 論文受理審査

提出された論文の内容により、論文受理審査を行い、論文受理を決定します。

b. 論文審査期間

論文受理決定以降、博士論文審査委員会を発足し、1 年以内に審査（口頭試問等の実施を含む）を行います。

(5) 論文の製本

最終試験合格後の製本は別途指示します。各自で製本する必要はありません。

- ・口頭試問の日時および審査結果（学位授与の可否）については、別途通知します。
- ・学位申請後、審査期間中に住所を変更した場合には、必ず大学院課人間社会研究科担当（現代福祉学部事務課）に届け出てください。

(1) 論文提出

- | 提出書類 | 部数 | 備考 |
|--------------------|----------|-------------------------------------|
| ①博士学位申請書（論文博士） | 4 部 | 指定用紙【様式 1】 |
| ②博士論文目録 | 4 部 | 指定用紙【様式 2】 |
| ③学位申請論文（製本したもの） | 4 部（製本） | 市販のフラットファイル（A4 サイズ、色は自由）に綴じる。※下図参照。 |
| ④論文要旨（4,000 字以内） | 4 部 | 指定用紙【様式 3】 |
| ⑤英文要旨 | 4 部 | ④に準じたものの英訳または英文アブストラクト |
| ⑥論文のデータファイル | 1 部（1 枚） | CD-R データ形式指定 |
| ⑦履歴書 | 4 部 | 指定用紙【様式 4】 |
| ⑧研究業績 | 4 部 | 指定用紙【様式 5】 |
| ⑨副論文目録（必要に応じて） | 4 部 | 指定用紙【様式 6】 |
| ⑩副論文（必要に応じて） | 4 部 | |
| ⑪電子公開複写許諾書 | 1 部 | 指定用紙【様式 7】 |
| ⑫電子公開に関する報告書 | 1 部 | 指定用紙【様式 8】 |
| ⑬住民票（論文博士のみ提出） | 1 部 | |
| ⑭最終学歴証明書（論文博士のみ提出） | 1 部 | 卒業証明書、修了証明書、学位証明書等を指します。 |

- ## (2) 論文の作成基準

論文題名	氏名
論文題名	氏名

論文 題名	論文題名
氏名	氏名

— 64 —

（３）論文受理審査

論文提出後、論文受理審査委員会にて論文受理審査（１次、２次）を行います。

１次審査を通過した場合に論文受理審査発表会を博士論文各年次発表会と同日に実施します。

２次審査を通過した場合に論文受理が決定し、論文審査が開始されます。

（４）論文審査

論文受理決定後、博士論文審査委員会を発足し、１年以内に審査（口述試験等の実施を含む）を行います。

（５）その他

- ・口頭試問の日時および審査結果（学位授与の可否）については、別途指示します。
- ・学位申請後、審査期間中に住所を変更した場合には、必ず大学院課人間社会研究科担当（現代福祉学部事務課）に届け出てください。

課程博士・論文博士共通

（１）審査料

受理が決定した後に、所定の振込用紙をお渡ししますので下記金額を納入してください。

- ① 本学博士後期課程３年次に在学中で、所定の科目を履修済または履修見込みの者 無料
- ② 本学博士後期課程に３年以上在学し、所定の科目を履修した後、退学して３年以内の者 １１万円
- ③ 上記以外の者が博士の学位を申請する場合 ２２万円 ただし、本学専任教職員は １１万円

（２）学位の授与

論文審査および最終試験に合格すれば３月または９月（課程博士のみ）に学位が授与されます。（９月授与を希望する場合は、指導教員に相談のうえ事務課にお問い合わせください。）

（３）論文のインターネット公表

2013年４月１日から学位規則の一部を改正する省令が施行され、論文のインターネット公表が義務化されました。論文はインターネットによる全文公表が前提です（本学学位規則第 29 条）。学位が授与された博士論文は、学位授与後１年以内に、法政大学学術機関リポジトリを経由してインターネット上に公開され、国立国会図書館にも収蔵されます。

申請時のデータファイルから変更がある場合は、９月修了者は９月 15 日、３月修了者は３月 24 日までに CD-R にて最終版のデータファイルを提出してください。

（４）論文の保存

論文は本人用のほか、法政大学図書館、現代福祉学部資料室に永久保存され、また論文審査の主査・副査と外部副査にも提出するため、製本業者により上製本（ハードカバー）した論文を製作します。審査終了後、製本用の論文原稿を 6 部提出してください。

※製本論文には、本論文の他、論文要旨および英文要旨または英文アブストラクトを含めるものとします（謝辞の挿入は自由です）。

※提出部数は審査小委員会の構成人数によっては製本部数が増減となる場合があります。

※退学後３年以内の課程博士、論文博士の方の製本費用（約 4,000 円／冊）については、別途必要となりますので予めご了承ください。